第１回新築検討協議会を踏まえた検討結果について

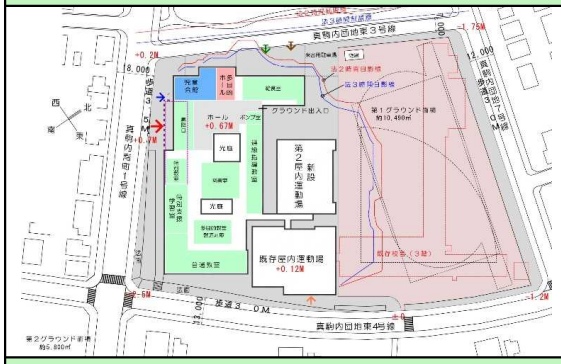
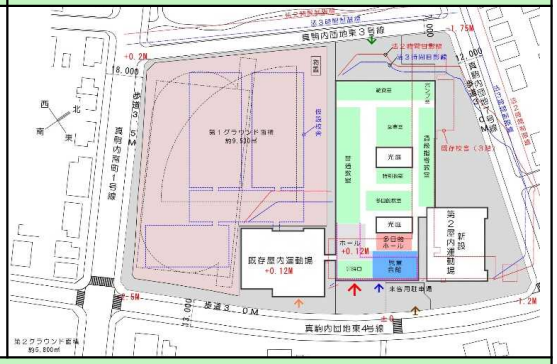
□配置計画について

前回の協議会では、現在のグラウンドがある南西側に校舎を建てる案（A案）と、仮設校舎を設けて現在の校舎位置（北西側）に校舎を建てる案（B案）を提案し、ご意見をいただきました。

□新築検討委員からのご意見

第１回協議会意見・その後頂いた意見	A案に賛成	A案とB案を比べると、利便性・工期・経費の面からA案が良いと思う。
		児童生徒の教育環境への影響を考えると、仮設校舎がなく、工事期間が短い方が良い。
		児童生徒への影響を考えると、少しでも早く完成するA案が良い。
		日影や騒音などのデメリットを踏まえても、A案が良いと思う。
		学校の運営しやすさが大切なので、学校が良いと考えているA案が良い。
	B案に賛成	B案が良い。２つのグラウンドが近くなる。仮設校舎は一時的なもの、長い目でみるべき。A案はグラウンド位置が反対になり北側住民に音の影響がある。また、南西側の住宅地に圧迫感を与える。学習環境としては、グラウンドに校舎の影が落ち、日当たりが悪くなる。
	他	A案B案どちらにしても、児童生徒や教員の負担が少ない方が良いと考えている。コロナの関係もあるが、外から人が入ってくる場所は学校と分離できる配置が良い。

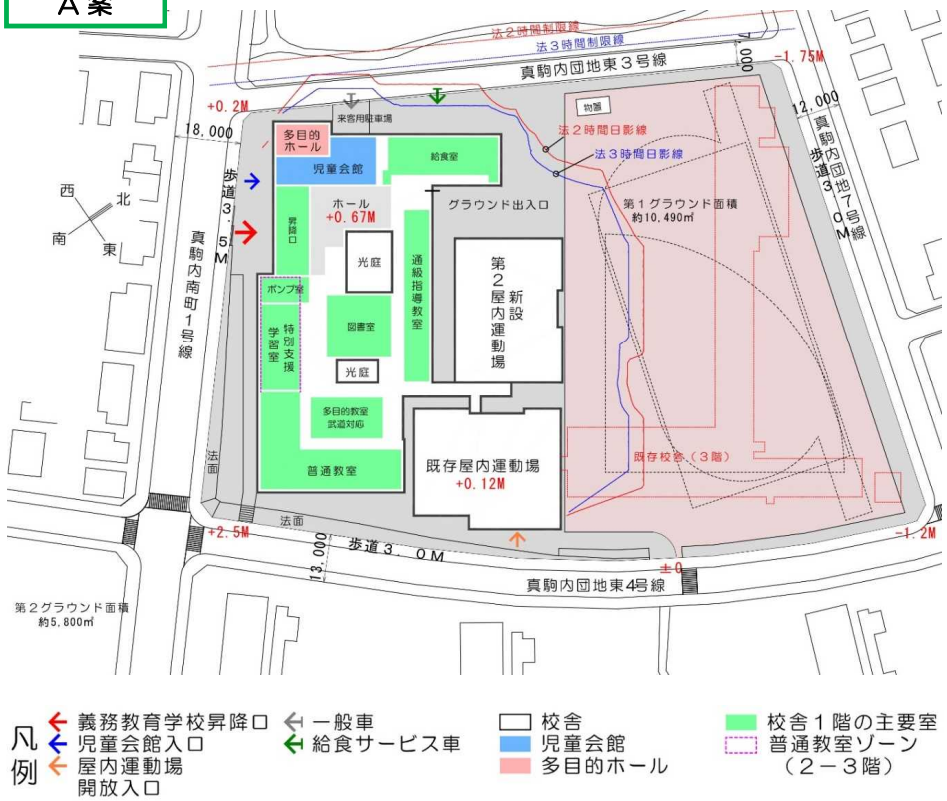
□配置計画案の比較

A　案	B　案
	

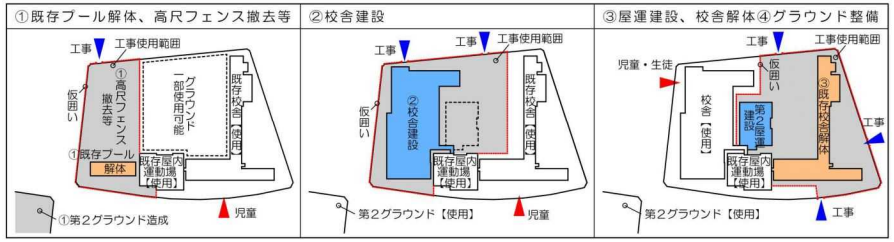
比　較　検　討		
周辺住宅への日影の影響が小さい 校舎の位置が変わり、音の影響や景観が変化	**周辺への影響**	現況と同等
体育や行事等で連動利用がしやすい 体育用具を２つの屋運で共有しやすい 避難所として運営しやすい	**屋内運動場** （既存・新設第2）	体育や行事等で連動利用がしにくい 体育用具を２つの屋運で共有しにくい 避難所として運営しにくい
既存と同程度の広さを確保可能 整形で体育や行事等において、幅広い使用が可能	**第1グラウンド**	既存より約1,000m²小さくなる 不整形で体育や行事等において、幅広い使用がしにくい
仮設校舎なし 引越が１回で済み、児童生徒や教職員への負担が最小限	**仮設校舎**	仮設校舎あり（事業費増） 引越が２回あり、児童生徒や教職員の負担が大きい
約２年	**工事期間**	約３年（仮設校舎建設等に約１年）

教育委員会では、これまでに頂いた意見を踏まえ、児童生徒にとっての学習環境や教職員への負担、周辺地域への影響などを考慮して、「A案」の配置計画を基に設計を進めることにしました。

Ａ案



□施工計画



※配置図、施工計画は第１回協議会の提示案に変更を加えています。